

NUBIC知的財産情報開示

開示日：2005年4月6日

各位

NUBIC知的財産情報の要約をお届けいたします
尚、NUBICベンチャークラブ特別会員、一般会員にはすでにお知らせしています。

| | | | | | |
|------------|---|-------|-------|------|-------|
| NUBIC管理番号: | 2004000055 | 整理番号 | 10772 | 担当者: | 齋藤 光史 |
| 表 題 | インフルエンザ菌の精確・簡便・迅速・高感度かつ安価な検査方法およびプライマーセット | | | | |
| 技術分野 | 食品・バイオ | 化学・薬品 | | | |
| 適応製品 | インフルエンザ菌感染の早期発見、診断システム | | | | |
| 目 的 | LAMP法を用いたインフルエンザ菌を精確・簡便・迅速・高感度かつ安価に検出する方法の提供 | | | | |
| 技術概要 | <p>本発明は、LAMP法を応用して、中耳炎・肺炎・髄膜炎の原因菌の一つであるヘモフィルス・インフルエンザに特異的なプライマーを設計し、臨床で使用可能な精確・簡便・迅速・高感度かつ安価な同菌の検出方法を提供する。</p> <p>従来、培養法と生化学的検査の併用により同菌を検出しているが、日数と費用と経験を必要とする。また、分子生物学的方法であるPCR法を用いた検出では、高い相同性を示す遺伝子をもつ菌との鑑別が困難であったり、専用の機器が必要であったりと臨床での普及が困難な現状である。</p> <p>一方、同菌に特異的な本発明のLAMPプライマーでは、63℃に加温し、30分程反応させると、その結果を目視で判定できる。さらに本発明のLAMPプライマーでは、検出感度がPCR法より高く、臨床現場での利用が期待される。</p> | | | | |

技術移転等をご希望の場合は、下記事項をご記入の上、本用紙にてお申し込みください。

(FAX、e-mail、郵送いずれでも可。)

各担当コーディネーターからご連絡を差し上げます。

| | | | | | |
|--------|--|-------|--|--|--|
| 面談希望日時 | | | | | |
| (ふりがな) | | | | | |
| 氏 名 | | | | | |
| 会社名 | | | | | |
| 所 属 | | 役 職 | | | |
| 電話番号 | | FAX番号 | | | |
| E-mail | | | | | |
| 連絡事項 | | | | | |

【申込み・問い合わせ先】

Nubic

日本大学産官学連携知財センター(NUBIC)

〒102-8275 東京都千代田区九段南4-8-24 日本大学会館

TEL:03-5275-8139 FAX:03-5275-8328 E-mail:nubic@adm.nihon-u.ac.jp